

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	和歌山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	和歌山市文化遺産活用活性化事業			
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度			
5 実施計画の概要				
<p>和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を推進するため、岩倉流泳法・岡崎団七踊りの後継者養成事業を実施する。</p>				
6 実施体制				
<p>和歌山市教育委員会が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。また補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>和歌山市文化遺産活用活性化事業実行委員会  構成団体：和歌山市教育委員会  特定非営利活動法人WISC（「岩倉流泳法」関係団体）  岡崎団七踊保存会</p>				
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額：	千円	平成29年度申請額： 562 千円
(2) 実施事業の概要				
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）				
<p>和歌山市の文化遺産に係る情報発信を積極的に行うことで、地域の文化遺産に対する関心が向上し、同時に人材育成を行うことで、継続的に文化遺産に対する関心を維持していくことができる。</p> <p>また無形文化財や伝統文化の後継者育成を行うことで、地域の文化遺産の質を保ちつつ、地域の帰属意識を高め、将来に継承していくことができる。</p> <p>それらにより、文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を行い、さらに和歌山市全体の文化遺産に対する意識を高めることにより、対外的な観光資源としての活用も期待できる。</p>				
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）				
事業概要：				
事業概要：				
事業概要：				
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等				
12 担当部局				
地方公共団体 担当部局課	和歌山市教育委員会 文化振興課			

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	岩倉流泳法保存会・岡崎団七踊保存会への参加住民数			関連事業:	①	
目標値 1 :	平成 23 年度	101 名	⇒	平成 33 年度	125 名	
設定根拠 1 :	各補助事業の参加者数(地域児童数の減少が続く中、毎年目標値(総人数125名)の80~85%の参加者がある。今後も85%以上の参加率を維持して行きたい。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	文化遺産総合活用推進事業	実施団体：	和歌山市文化遺産活用活性化実行委員会		
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 23 年度	～	平成 33 年度
事業概要：	和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を推進するため、岩倉流泳法・岡崎団七踊の後継者養成事業を実施する。				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	岩倉流泳法保存会・岡崎団七踊保存会への参加住民数				
目標値：	平成 23 年度	101 名	⇒	平成 33 年度	125 名
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
125 名	名	名	名	名	名